2020年度の評価結果と2021年度のCSR活動目標（ISO26000の枠組みによる活動方針）

項 目	2020年度目標（赤字・KPI）・計画（P）	2020年度実績（D）	評価（C）	今後の方針（A）	2021年度目標（P）
1. マネジメントシステムおよび組織統治	(1) 適正な運用 1) PDCAサイクルによる継続的改善 2) ヒューマンエラートラブル防止対策の強化実	(1) 1) マネジメントシステムに従い継続実施。日本曹達4工場はOHSAS18001からISO45001への更新移行完了 2) 各事業所、グループ各社に対し目標設定し対策強化	◎ ◎	(1) 1) 維持更新について監査、部会等で進捗を監視 2) グループ全体でヒューマンエラー防止について、認識対応できるよう継続的な是正、啓蒙を進める	(1) 適正な運用 1) PDCAサイクルによる継続的改善 2) ヒューマンエラートラブル防止対策の強化実施
2. 環境保全	(1) 環境異常：発生件数ゼロ (2) エネルギー 1) エネルギー原単位（物流を除く）：年1%改善（生産量ベース） 2) 物流エネルギー原単位：年1%改善（売上ベース） (3) 地球温暖化ガス排出削減：年1%削減。フロン漏えい撲滅。 (4) 水資源の保全：水の資源のモニタリングを行い、効率的な水の利用を進める (5) 廃棄物 1) 最終埋立処分量：年3%削減 2) ゼロエミッションの継続（2%以下） (6) 大気への有害物質排出：年1%削減 (7) 生物多様性、生体系への影響の低減	(1) 未達：環境異常1件発生　高岡工場：泥水流出により排水SS値協定値超過 (2) 1) 未達：0.371kL/t（4.2%増）（生産量減少のため） 2) 達成：0.0185kL/百万円（26.6%減） （物流エネルギー原単位の高い製品の販売が減少したため） (3) 達成 187,525t（7.6%減）（生産量減少のため） (4) 水使用量等の調査実施 (5) 1) 達成：75t（35%減）（生産量減少のため） 2) 達成：0.8% (6) 達成：5.5t（20%減） (7) 千葉工場：ヒメコマツサポーター継続実施。小田原研：酒匂川水系メダカ育成継続実施。新規取り組みとして「上越市くわどり市民の森」内に「日曹グループの森」設置（本社、二本木工場）	× × ◎ ◎ ○ ◎ ◎ ◎ ○	(1) 環境トラブル防止活動をCSR活動計画に従い継続実施 (2) 1) 計画実行による省エネを推進し、原単位年1%低減達成に努める 2) 輸送経路、倉庫の最適化を検討 (3) 省エネ活動と連携した改善の実施 (4) 具体的な目標の設定を検討 (5) 1) 対策実施による削減目標達成の継続 2) ゼロエミッション比率2.0%未満の維持 (6) 削減対策の継続実施 (7) 活動計画を検討・立案し、実施	(1) 環境異常：発生件数ゼロ (2) エネルギー 1) エネルギー原単位（物流を除く）：年1%改善（生産量ベース） 2) 物流エネルギー原単位：年1%改善（売上ベース） (3) 地球温暖化ガス排出削減：年1%削減。フロン漏えい撲滅 (4) 水資源の保全：水の資源のモニタリングを行い、効率的な水の使用を進める。 事業所排水の水質維持向上。水使用量の削減検討 (5) 廃棄物 1) 最終埋立処分量：年3%削減 2) ゼロエミッションの継続 (6) 大気への有害物質排出：年1%削減 (7) 生物多様性、生体系への影響の低減に関する活動の継続
3. 保安防災・BCP	(1) 重大設備災害・無災害 1) 重大設備災害ゼロの達成 2) BCPと連携し、重大設備災害発生リスクの低減実行 (2) BCP（事業継続計画）維持・改善：PDCAサイクルによるBCPの維持改善 1) 定期的なBCPの見直しとリスク低減策実行	(1) 1) 達成 2) 防災診断：中止（新型コロナウイルス感染拡大防止のため）。試運転前安全監査：4件。特別CSR監査：1件（2019年度の災害に関して） (2) 1) 2020年4月1日改定 第10版配付。各事業場防災訓練、安否確認訓練実施	◎ ○ ◎	(1) 1) 災害防止対策の継続 2) 安全監査の継続実施。必要時、特別CSR監査の実施 (2) 1) 定期的な見直しと新リスクへの対応（新型コロナウイルス感染症に関する危機対応について第11版にて対応）。防災訓練の継続実施	(1) 重大設備災害・無災害 1) 重大設備災害ゼロの達成 2) BCPと連携し、重大設備災害発生リスクの低減実行 (2) BCP（事業継続計画）維持・改善：PDCAサイクルによるBCPの維持改善 1) 定期的なBCPの見直しとリスク低減策実行
4. 労働安全衛生	(1) 労働災害（休業・不休業）：無災害 1) リスクアセスメントによるリスク低減策実行 2) ヒューマンエラー防止強化 3) 安全活動の活性化 4) 若年層、経験の浅い労働者の災害防止活動実施。体感教育設備と教育体制の増強 (2) 健康経営の推進：健診要精密検査の受診率の改善。年5%改善。 1) 定期健康診断のフォローアップ 2) メンタルヘルスチェックとフォローアップ 3) 心と体の健康教育	(1) 未達　休業 11件（NS：4件、NS協力：3件、グループ社員：2件、グループ協力：2件） 不休 12件（NS：2件、NS協力：2件、グループ社員：4件、グループ協力：4件） 1) 2) 3) 4) 安全パトロール：6事業場で実施。中央安全衛生委員会の開催：6/19、11/13 3) 労災防止調査：中止（新型コロナウイルス感染拡大防止のため） (2) 達成：2019年度（68.2% 197／289名）、2020年度（92.7% 240／259名） 1) 2) 改善指導を医療関係者と衛生担当者で実施 3) メンタルヘルス研修、産業医衛生講話（DVD、資料掲示）等により実施	× ○○○○ × ◎ ○○ ○	(1) 2021年度も引き続き各委員会等でヒューマンエラー対策やさらなる安全意識の高揚を図り、災害発生防止活動を継続的に推進 1) 2) 3) 4) 他事業所への水平展開 3) 状況により実施の可否を検討 (2) 1) 2) 健診結果による有所見者の指導強化、ストレスチェックの実施と高ストレス者への早期対応 3) Webでの産業医講演会等を検討	(1) 労働災害（休業・不休業）：無災害 1) リスクアセスメントによるリスク低減策実行 2) ヒューマンエラー防止強化 3) 安全活動の活性化 4) 若年層、経験の浅い労働者の災害防止活動実施。体感教育設備と教育体制の増強 (2) 健康経営の推進：健診要精密検査の受診率の改善。年5%改善 1) 定期健康診断のフォローアップ 2) メンタルヘルスチェックとフォローアップ 3) 心と体の健康教育
5. 物流安全・品質保証・消費者課題	(1) 物流クレーム：発生件数ゼロ 1) 運送会社への教育、指導の実施。クレームに対する原因究明、再発防止策の徹底。 (2) 製品クレーム：発生件数 年20%削減 1) 品質リスクアセスメント導入におけるA、Bランクリスクの前年度比3割削減。ヒューマンエラー防止強化。クレームに対する原因究明、再発防止策の徹底。 (3) 消費者課題：消費者要望、社会からの要請に適切な対応 1) 相談窓口対応、販促、普及活動を通して集められた消費者からの要望や社会からの要請に適切に対応	(1) 未達：2件発生 1) 運送会社等（計6拠点）への教育、指導を実施。クレームに対する原因究明と再発防止策を実施 (2) 達成：前年度比33%削減（2019年度9件⇒2020年度6件） 1) 達成：Aランク 29件⇒3件（90%削減）、Bランク 1,126件⇒261件（77%削減） (3) 1) 「社会活動」の位置づけとし、各事業部にて対応。問い合わせ対応、販促活動等を通じ、ニーズの吸い上げと顧客満足度向上を推進	× ◎ ◎ ◎ ◎	(1) 1) 運送会社への点検監査、教育等を継続。ローリー出荷先への納入方法改善依頼の継続。業界団体を通じた情報収集の実施 (2) 1) 各事業場にて計画的に実施 (3) 1) 活動を継続	(1) 物流クレーム：発生件数ゼロ 1) 運送会社への教育、指導の実施。クレームに対する原因究明、再発防止策の徹底 (2) 製品クレーム：発生件数 年20%削減 1) 品質リスクアセスメント導入におけるA、Bランクリスクの前年度比3割削減。 ヒューマンエラー防止強化。クレームに対する原因究明、再発防止策の徹底 (3) 消費者課題：消費者要望、社会からの要請に適切な対応 1) 相談窓口対応、販促、普及活動を通して集められた消費者からの要望や社会からの要請に適切に対応
6. 化学品・製品安全	(1) 化学品法令遵守：違反ゼロ 1) 違反件数ゼロ 2) 新化学物質管理システム等による化学物質の管理強化（SDSのJIS規格改正版への移行、国内および海外のSDS・ラベルの制改定、製品含有物質調査と管理の強化） 3) 化学物質管理に関する定期教育の実施 4) 海外法改正対応	(1) 1) 未達：違反1件 グループ会社（日曹商事）：リスト規制貨物の輸出に関する許可条件違反 2) SDSの新JIS対応は予定より遅れを生じたが、2020年度より運用開始。製品含有化学物質調査と管理の強化は未実施 3) 計画に従い実施 4) ほぼ計画どおりに対応	× △ ◎ ○	(1) 2) 2022年5月までに全製品SDSを新JIS規格対応版に改定する。ExESSによる製品含有化学物質管理の強化実施 3) 活動を継続 4) 英国のEU離脱に伴うUK-REACH対応、その他法改正対応	(1) 化学品法令遵守：違反ゼロ 1) 違反件数ゼロ 2) 新化学物質管理システム等による化学物質の管理強化（SDSのJIS規格改正版への移行、国内および海外のSDS・ラベルの制改定、製品含有物質調査と管理の強化） 3) 化学物質管理に関する定期教育の実施 4) 海外法改正対応
7. 社会との対話・コミュニティ参画および開発・公正な事業慣行・コンプライアンス	(1) 地域懇談会・コミュニティ参画 1) 地域懇談会の回数維持と内容の充実（目標25件以上／年） (2) 法的およびその他要求事項 1) 違反件数ゼロ (3) ステークホルダーエンゲージメントの積極的実施 1) 1事業場年1回	(1) 1) 未達：3件実施（大半の地域懇談会が新型コロナウイルス感染症の影響により中止） (2) 1) 未達：日本曹達1件、グループ会社1件 日本曹達（高岡工場）：排水公害防止協定値逸脱 グループ会社（ニッソーファイン）：排水基準値超過 (3) 1) 日化協によるESGデータ集検証実施（10/26～30）。SOMPOリスケアマネジメントによる防災診断、労働災害防止調査は中止（新型コロナウイルス感染拡大防止のため）	× × ×	(1) 1) 次年度の計画、状況に従い実施予定 (2) 1) 逸脱事項の是正改善と再発防止のための水平展開 (3) 1) 次年度は統合報告書とESGデータ集を合わせて検証実施予定	(1) 地域懇談会・コミュニティ参画 1) 地域懇談会の回数維持（地域関係者、関係機関との対話継続）と内容の充実 (2) 法的およびその他要求事項 1) 違反件数ゼロ (3) ステークホルダーエンゲージメントの積極的実施 1) 1事業場年1回
8. 人権・労働慣行	(1) 多様性の受容 1) 女性、障がい者、高齢者、外国人の雇用比率向上 2) 多様な人材の能力を最大限発揮させる企業文化の醸成と職場環境整備の推進 (2) 働きがいと誇りを持てる職場 1) 従業員の職場満足度の把握と向上 2) 社内の相互コミュニケーション強化と人材育成の充実	(1) 1) ・新卒：基幹職入社20名（女性8名） ・中途：基幹職採用2名 ・再雇用：4月9名、10月6名（希望者100%） ・障がい者雇用比率：2.2% 2) ・キャリア開発支援制度の取組み：キャリアビジョンシート対象者（280名） ・社内報での啓蒙活動実施 (2) 1) ・次世代育成支援対策法：一般事業主行動計画（第7期）策定。くるみん認定（2020年10月22日） ・女性活躍推進法：一般事業主行動計画（第3期）策定 ・改正労働施策総合推進法への対応 ・育児・介護休業法施行規則：子の看護休暇・介護休暇の時間単位取得 ・ホワイト500：認定継続中（4年目） ・若年層賃金カーブ改善 ・管理職新考課制度の導入（2021年度より運用開始） ・工場地区休日1日増（2021年度より運用開始） ・時間単位年休の導入（2021年度より運用開始 2日分／年） ・育児に係る各種制度の適用範囲拡大 2) ・管理職人事制度の見直し：単線型（マネジメント偏重型）→複線型（マネジメント型+高度専門職） ・キャリア開発支援制度の取り組み：キャリア面談を実施	◎ ◎ ◎ ◎	(1) 1) ・多様性を考慮した採用の継続 ・ダイバーシティ研修継続実施 ・障がい者雇用に関する啓蒙および職場環境の開発 ・障がい者雇用に関するネットワーク強化 2) ・キャリア開発支援制度による結果を加味した育成および人材配置の実現 ・社内報での啓蒙活動を継続実施 (2) 1) ・各種法令対応の継続実施 ・各種制度の運用実施。運用状況、ニーズにより対応検討 ・ホワイト500の認定維持を目指す 2) ・新人事制度の運用開始 ・キャリア面談の継続実施	(1) 多様性の受容 1) 女性、障がい者、高齢者、外国人の雇用比率向上 2) 多様な人材の能力を最大限発揮させる企業文化の醸成と職場環境整備の推進 (2) 働きがいと誇りを持てる職場 1) 従業員の職場満足度の把握と向上 2) 社内の相互コミュニケーション強化と人材育成の充実

※達成率　◎：90%以上　○：90～80%　△：80～60%　×：60%以下